

令和3年度（2021年度）学校評価書

北海道霧多布高等学校

令和3年度 めざす学校像

- わかる喜びを味わう授業を実践し、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
- 心身の健康と自らを律する姿勢を大切に、他者と協働できる人間性豊かな生徒を育てる。
- 生徒のやる気と可能性を引き出し、自己実現に粘り強く取り組む生徒を育てる。
- 地域との密接な連携のもと、町民に信頼され、地域に貢献する生徒を育てる。

A: そう思う B: おおむねそう思う C: 不十分である D: 改善を要する

領域	対象	No	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点	評価			改善・充実の方策	学校関係者評価
					保護者	教職員	学校(教)		
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	A	B	B	○T Tや学習態度別学習、学習支援員により、生徒の実態に即した学習指導に成果がみられた。今後は、各種学力調査（校外模試・検定・学習状況等調査）などの客観的評価に基づいた学習指導の課題を整理・分析し、指導内容の充実と努めるとともに、家庭学習の定着化の推進を図る。また、来年度から始まる1人1台端末の導入に向け、指導方法の工夫に努め、「誰一人取り残すことのないわかる授業」をめざし、教職員研修の充実に努める。	B
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	B	C			
	生徒指導	3	生徒会活動の自主的な運営推進	生徒会執行部及び各委員会が積極的に、日常の学校生活に課題意識をもち、その改善に向けた取組を推進する支援を行えたか。	A	B	A	○コロナ禍においても、生徒会執行部を中心として柔軟に校内外活動を維持することができた。今後は、他校交流の成果を活かし、生徒の学校生活の一層の改善のため、課題設定と解決の視点をもった自治意識の高い生徒会運営ができるよう、教職員による支援を一層充実させる。	A
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。	A	B			
	進路指導	5	個別支援制度の充実	生徒個々の可能性を引き出し、進路実現に向けた継続的な取組により指導できたか。	B	C	C	○キャリア教育の活動をポートフォリオ化することで、生徒個々の特性、希望に応じた適切な進路指導が継続された。今後は、蓄積された進路活動データの分析とそれに応じた利活用の方策、さらに探究活動やガイダンス機能を強化した系統的な進路活動が推進されるよう、運営計画を再構築する。また、学校ホームページや学校便りなどをとおして、生徒や保護者、地域の方々に対する情報発信を充実させる。	B
		6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	B	B			
	健康安全指導	7	生命を大切にする教育の充実	生徒の健全育成を促し、いじめの未然防止に向けた取り組みが実施できたか。	B	A	A	○定期的ないじめ防止対策委員会や教育相談委員会の開催により、いじめや悩みを抱える生徒の情報速やかに把握し、組織的に生徒に丁寧な対応をすることができた。また、年度当初に2回の津波防災訓練を実施し、報道機関に避難訓練の取り組みを紹介するなど、本校の立地特性を常に意識した防災体制を維持できた。今後は、給食残食の削減に向け、授業や生徒会活動による生徒の食への関心の向上に一層力を入れる。	A
		8	防災意識の向上	生徒の津波などの自然災害への意識向上を図ることができたか。	A	A	A		A
		9	食と健康	授業や給食を通じて、食育指導や栄養バランスについての指導ができたか。	A	B	B		A
学校関係者意見等		<p>○学校が楽しくて、イキイキと学べることが、生徒にとって良いことだと思います。勉強だけ、成績が良くてもだめで、人として生きるすべを学んで行ける場所であってほしいです。</p> <p>○学習・進路は個人差が大きく、全体での評価が難しい。</p> <p>○防災は、ソフトハード（現実）にギャップが大きく、解決策を検討することが急務。</p> <p>○終息の兆しが見えないコロナ禍の中、生徒、職員の皆様の頑張りに敬意を表します。生徒の皆さんの中には充分に力を発揮できず心残りの人もいるでしょうけど、いかなる場面でも高い順応性と粘り強さを持って、そしてしなやかに前を向いてほしいと思います。</p> <p>○コロナウィルス感染症対策が大変な中、高校生チャレンジグルメなど新たな取り組みを行って、頑張りがみられた。</p>							
学校運営	開かれた学校づくり	10	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	B	B	B	○令和4年度から始まる学習指導要領の運用に向け、指導と評価に関する研修を実施し、計画的に教育課程委員会を開催して準備を進めることができた。今後は、本校のめざす生徒像を常に意識したカリキュラムの精選と運用のため、組織的な授業改善に力を入れる。また、「浜中学」を軸として、幅広い教科・科目における学校間連携や地域の教育資源の発掘を継続する。	B
		11	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。	B	B			
	組織・運営	12	学校評価の改善	学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	B	B	B	○ミドルリーダーを核として、分掌業務とその運営方法について従前の在り方にとらわれない視点での検討を進めることができた。今後は、業務改善に向けた教職員によるアイデアを一層活かすため、「報告」「連絡」「相談」が教職員間で意識的に行われるよう、分掌組織の活性化に努め、教職員が意欲的に学校改善に関わる意識を育てる。	B
		13	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて再確認し、「働き方改革」を見据え、円滑で効果的な運営に向け改善できたか。	B	B			
	教員の資質向上	14	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できたか。	B	B	B	○研修委員会により危機管理や生徒理解、診断テスト分析などの研修を企画するとともに管内研究会やオンラインによる各種研修に多くの教職員が出席し研修を深めた。今後は、教職員の研修報告を積極的に共有し、資質向上に向け切磋琢磨する雰囲気向上させると共に、道内外における各種研修の機会について、教職員に積極的に周知し、本校教育活動の充実に一層寄与できるよう努めていく。	B
15		校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	B	B				
学校関係者意見等		<p>○学校の様子を知らせていただき、ありがとうございます。コロナの中でも、子供たちが有意義に過ごせるよう願っています。</p> <p>○これからも「浜中学」のように、自らの考えで取り組む授業作りに継続的に取り組んでいただきたい。</p>							

※評価欄（保護者・教職員）は、アンケート結果により評価しています。

令和3年度学校評価に係る保護者アンケート

北海道霧多布高等学校

令和3年12月6日

1 教育活動について (A: そう思う B: おおむねそう思う C: 不十分である D: 改善を要する)

No	質問事項	全校保護者										1学年保護者										2学年保護者										3学年保護者									
		数値		A		B		C		D		合計		A		B		C		D		合計		A		B		C		D		合計									
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%										
1	霧多布高校は、生徒にとって質の高い授業を行い、学力の向上を図っている。	31	49.2	29	46.0	3	4.8	0	0.0	63	100	12	36.2	7	21.9	0	0.0	0	0.0	19	29.7	9	27.3	14	42.9	2	6.0	0	0.0	25	37.9	10	30.3	8	24.2	1	3.0	0	0.0		
2	霧多布高校は、放課後学習や家庭における学習課題など、授業をサポートする取り組みを実施している。	30	46.9	33	51.6	1	1.6	0	0.0	64	100	12	36.2	7	21.9	0	0.0	0	0.0	19	29.7	11	33.1	14	42.9	1	3.0	0	0.0	26	39.4	7	21.9	12	36.2	0	0.0	0	0.0		
3	霧多布高校は、部活動や生徒会活動を活性化し、生徒による主体的な活動が行われている。	33	51.6	28	43.8	3	4.7	0	0.0	64	100	14	42.9	5	15.2	0	0.0	0	0.0	19	29.7	9	27.3	14	42.9	3	9.0	0	0.0	26	39.4	10	30.3	9	27.3	0	0.0	0	0.0		
4	霧多布高校は、規律を重んじる意識・態度を身につけ、生徒の事故指導力を育成している。	34	53.1	29	45.3	1	1.6	0	0.0	64	100	13	39.4	6	18.8	0	0.0	0	0.0	19	29.7	11	33.1	14	42.9	1	3.0	0	0.0	26	39.4	10	30.3	9	27.3	0	0.0	0	0.0		
5	霧多布高校は、生徒及び保護者と連携して、3年間を見通した継続的で適切な進路指導を行っている。	29	46.8	30	48.4	3	4.8	0	0.0	62	100	12	36.2	5	15.6	1	3.1	0	0.0	18	27.3	10	30.3	14	42.9	1	3.0	0	0.0	25	37.9	7	21.9	11	33.1	5.3	8.0	0	0.0		
6	霧多布高校は、ホームページ、学校だより、学級通信等を活用して、学校の教育活動や進路等の情報を積極的に発信している。	26	43.3	32	53.3	2	3.3	0	0.0	60	100	11	33.9	7	21.9	0	0.0	0	0.0	18	27.3	8	24.2	14	42.9	1	3.0	0	0.0	23	34.9	7	21.9	11	33.1	5.3	8.0	0	0.0		
7	霧多布高校は、いじめのない安全安心な学校環境を整えるとともに、教育相談やカウンセリングを充実させている。	28	45.2	31	50.0	3	4.8	0	0.0	62	100	12	36.2	5	15.6	1	3.1	0	0.0	18	27.3	9	27.3	14	42.9	2	6.0	0	0.0	25	37.9	7	21.9	12	36.2	0	0.0	0	0.0		
8	霧多布高校は、津波などの自然災害への意識向上を図り、命を守るための行動力を育成している。	39	60.9	23	35.9	2	3.1	0	0.0	64	100	15	46.9	3	9.4	0	0.0	0	0.0	19	29.7	12	36.2	13	39.4	1	3.0	0	0.0	26	39.4	12	36.2	7	21.9	0	0.0	0	0.0		
9	霧多布高校は、給食や授業を通じて、食育指導や栄養バランスについての指導を充実させている。	33	50.8	30	46.2	2	3.1	0	0.0	65	100	15	46.9	3	9.4	0	0.0	0	0.0	19	29.7	10	30.3	16	48.8	1	3.0	0	0.0	27	40.9	8	24.2	11	33.1	0	0.0	0	0.0		
10	霧多布高校は、授業や行事などにおいて町内の様々な組織との連携を推進し、生徒や保護者・地域の期待や要望に対応している。	28	45.2	32	51.6	2	3.2	0	0.0	62	100	12	36.2	6	18.8	1	3.1	0	0.0	19	29.7	7	21.9	17	51.5	0	0.0	0	0.0	24	36.2	9	27.3	9	27.3	5.3	8.0	1	3.0		
11	霧多布高校は、学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を実行している。	27	43.5	33	53.2	2	3.2	0	0.0	62	100	13	39.4	5	15.6	1	3.1	0	0.0	19	29.7	7	21.9	16	48.8	1	3.0	0	0.0	24	36.2	7	21.9	12	36.2	0	0.0	0	0.0		
12	霧多布高校は、教職員の資質向上のため、研修を推進し、生徒にとって質の高い教育の向上に努めている。	27	42.9	36	57.1	0	0.0	0	0.0	63	100	13	39.4	6	18.8	0	0.0	0	0.0	19	29.7	7	21.9	18	54.3	0	0.0	0	0.0	25	37.9	7	21.9	12	36.2	0	0.0	0	0.0		

●霧多布高校への意見・要望

体育祭を総体でやっていますが、外でのびのびとやれないのではありませんか？【1学年】
町の宝ですが災害に強い立地だとなお良いと思います。【3学年】

令和3年度学校評価に係る教職員アンケート集計表

北海道霧多布高等学校

次のA～D(A: そう思う B: おおむねそう思う C: 不十分である D: 改善を要する) のいづれかを○で囲んで下さい。

令和3年12月6日

領域	対象	No	今年度の重点目標	質問項目	数値	A	B	C	D	全体
教育活動	学習指導	1	授業改善による学習意欲の喚起	授業評価や校内研修などのデータを分析し、授業改善に活用することにより、学習者の意欲を高めることができたか。	数	6	9	0	0	15
					%	40.0	60.0	0.0	0.0	100
		2	個に応じたきめ細かな学習指導の充実	個に応じた学習指導の教科ごとの工夫・改善により、家庭学習に持続的に取り組む生徒を増やすことができたか。	数	4	6	5	0	15
					%	26.7	40.0	33.3	0.0	100.0
	生徒指導	3	生徒会活動の積極的な運営への支援	生徒会執行部及び各委員会が積極的に、日常の学校生活に課題意識をもち、その改善に向けた取組を推進する支援を行えたか。	数	4	10	1	0	15
					%	26.7	66.7	6.7	0.0	100
		4	生徒指導の在り方検討	生徒心得を始めとする規程を確認するとともに、生徒・保護者等の意向も踏まえ、今後の生徒指導の在り方について検討できたか。	数	3	11	1	0	15
					%	20.0	73.3	6.7	0.0	100
	進路指導	5	個別支援制度の充実	生徒個々の可能性を引き出し、進路実現に向けた継続的な取組により指導できたか。	数	2	4	7	2	15
					%	13.3	26.7	46.7	13.3	100
		6	適切な情報発信	生徒・保護者及び地域の方に理解してもらいたい情報を、わかりやすく継続して情報発信することができたか。	数	4	7	4	0	15
					%	26.7	46.7	26.7	0.0	100
	健康安全指導	7	生命を大切に教育の充実	生徒の健全育成を促し、いじめの未然防止に向けた取り組みが実施できたか。	数	8	7	0	0	15
					%	53.3	46.7	0.0	0.0	100
					8	防災意識の向上	生徒の津波などの自然災害への意識向上を図ることができたか。	数	9	6
%	60.0	40.0	0.0	0.0				100		
	9	食と健康	授業や給食を通じて、食育指導や栄養バランスについての指導ができたか。	数	5	10	0	0	15	
				%	33.3	66.7	0.0	0.0	100	
学校運営	開かれた学校づくり	10	新教育課程の検討	新学習指導要領に対応する教育課程編成に向け、情報収集及び検討会等を適切に行うことができたか。	数	5	10	0	0	15
					%	33.3	66.7	0.0	0.0	100
		11	町内小中学校との連携推進	授業公開、学校訪問、情報発信の工夫などにより、町内での本校教育活動への理解が進み、本校への進学率を向上できたか。	数	2	9	4	0	15
					%	13.3	60.0	26.7	0.0	100
	組織・運営	12	学校評価の充実	学校課題の速やかな把握に努め、課題解決に向けた取組を年度内に実行できたか。	数	3	11	1	0	15
					%	20.0	73.3	6.7	0.0	100
		13	学校運営の見直し	分掌業務量、運営の在り方などについて再確認し、「働き方改革」を見据え、円滑で効果的な運営に向け改善できたか。	数	1	11	2	1	15
%					6.7	73.3	13.3	6.7	100	
教員の資質向上	14	校内研修の充実	基本的な研修を積み上げ、危機管理を始めとする重要な校務に対し、全職員が同じ歩調で歩む体制づくりを推進できたか。	数	4	8	3	0	15	
				%	26.7	53.3	20.0	0.0	100	
	15	校外研修の共有	不定期な研修報告を資質向上への意識喚起の機会とするとともに、教員の相互理解促進の機会として活用することができたか。	数	3	11	1	0	15	
				%	20.0	73.3	6.7	0.0	100	